

琉球風水から見る2017年

休息と癒やしの質を高める

水の氣を生み出す
ピンク・ゴールド系
心明るく、温かく

水の氣や金の氣のカラーを使ったコーディネート。壁のアクセントクロスにゴールド、枕カバーには優しさ、愛情を深めてくれる落ち着いた印象のピンク系を用いた。暖色を使うことで、空間に明るさと温かみが加わる。ベッドサイドのアイテムには丸みのあるものを。



水の氣を取り込む
ブルーのポイント使いで
落ち着きを維持

カーテンやクッションに、水の氣を活性化させるブルーを使った、落ち着きのあるコーディネート。ブルーには沈静作用があるため、リラックスできる空間。「白やベージュを基調に、ブルーなど強い色はポイント使いにすると落ち着きのある雰囲気にとまらります」と上原さん。生地は少しツヤのあるサテンで、流れのあるような柄を取り入れた。

枕やクッションを重ね使いすることで、ホテルのベッドのような、ワンランク上の雰囲気のコーディネートになるという。「ブランケットなどを長方形にたたんで足元のほうに置いて、フットスロー代わりに使うのも手です」とアドバイスする。

2017年は、水が清らかか
水回りの
清浄化
のコツ

水気拭き取る習慣を

氣の調和
美しく
彩る

水の氣を活性化する寢室のコーディネート例

写真/梅ムーブプランニング提供、インテリアコーディネート/上原牧子

うえはら・まきこ
/梅ムーブプラン
ニング専務取
締役。インテリア
コーディネータ
ー、2級建築士。インテリアはも
ちろん、子育てしやすい住まい
づくりに力を注ぐ。
<http://move-planning.com>



「窓や扉は氣の出入り口。ベッドの真正面に扉があったり、頭上に窓があると落ち着きません。ベッドの斜め前方に出入り口があると人が入ってきてもすぐに分かるので、安心感につながります」と横川さん。寢室の壁2面に大きく窓を取ってしまうと、ベッドの頭が壁付けにできない。「新築時は、ベッドの配置を頭に入れながら窓や扉の位置を決めるといいでしょう」。柱の張り出しも、寝ている体に向かないよう氣を配りたい。

寢室の
形を整え
背後安定

扉はベッドの斜め前方に

琉球風水による空間デザインで大切なのは、氣の流れのよい空間を整えていくこと。その過程は「形を整える」↓「清浄化」↓「美しく彩る」となる。形を整える点から寢室を見たとき、重要なポイントの一つがベッドの配置だ。琉球風水では背後が安定していることが良いとされる。右下図参照

安眠、リラックスできる環境づくり

寢室の鏡の問題点と対処法→ロールスクリーン



寢室で氣を配りたいのが鏡の配置だ。「鏡は氣を強く跳ね返すので、どこに向けるかが大事。寝ている体が写り込まないような配置にしてほしい」。寢姿が写ってしまう場合の対処法として、インテリアコーディネーターの上原牧子さんが提案したのが、ロールスクリーンを利用する方法。左写真参照。「床から天井まである大きな鏡。起きたときに自分の姿が写って怖いということで、寝ている間だけ鏡を隠せるようにロールスクリーンを取り付けました」と説明する。水の氣を活性化させる寢室のコーディネートは、上写真を参考に。インテリアコーディネートもぜひ楽しんで。

頻度や種類別に分けて収めていく。「よく使う物とそうでない物は別々の場所にしまえます。毎日使うものを厳選。ス